

屋代高等学校附属中学校 オーストラリア研修1日目 報告書

いよいよオーストラリア研修初日を迎えました。多くの保護者、先生方に見送られて学校を出発したものの、羽田空港までの道のりは渋滞のため思いのほか長く、それでも車内は賑やかで活気でいっぱい。羽田空港もめったに来られない場所、と到着するなり早速写真撮影をする姿に、これから何千枚と写真を撮ることになるだろうと言う予感の通り、これ以降も目に映る様々な風景を写真に収める1日となりました。

初海外と言う生徒がほとんどなので、発券手続きやセキュリティチェックなど職員の説明を真剣に聞き、慎重に手順を踏んでいきます。出国手続きを終えたところで、気づけば周りに外国の人多くなっていることにハッとします。日本にいながらもう日本ではない場所にいると言うことを実感。ここからは一層気を引き締めて、と思っていました。まだ興奮の方が強い様子。機内でほとんど寝られなかったと口々に言いながらもそのことすら楽し気で、寝不足も堪えることなく意気揚々とオーストラリアの地を踏みました。

今回は経由地であるシドニーで入国手続きを行います。入国カードの記入については事前に学校でも練習したと言うことですが、レーンに並んでいるうちに不安になってきたのか、記入内容について確認をしたり、生徒同士で質問の予行練習をしたり…。残念ながらその意気込みに反して実際の手続きはほとんど質問もされず、流れ作業的に終わってしまう人がほとんどで、少しがっかり。次のミッションはシドニー空港でのランチとなりました。初めてオーストラリアドルを使つての昼食でしたが、空港内はサンドイッチやハンバーガーでも10ドル越えのメニューが当たり前。高いと思いつつも、一つの経験・思い出として少しリッチなランチを楽しんでいました。中には機内食をしっかりと食べたためとりあえず水だけ、と言う生徒もいましたが、水すら3~4ドルする世界。日本円に換算してびっくりです。

シドニーからブリスベンへは1時間半程度のフライトですが、この後にホストファミリーとの対面を控えているため、しおりに載っている英語フレーズを見たり、ファミリー情報を見返したり、少しずつ緊張感が高まってきました。そうこうしている間にブリスベンに到着。バスで対面場所となるセンターへ向かうバスの中も、緊張感でいっぱい…と思いきや、長い一日でそろそろ電池切れ、と言うようにウトウトし始める生徒も。ただ、センターには既にファミリーが待機しており、その様子を見ると眠気も吹っ飛びました。写真に載っていた顔を探しながら、いつ自分の名前が呼ばれるかドキドキの時間が始まりました。大きな声でアイコンタクト…と事前のオリエンテーションで伝えたことを囁みしめて実践しようとしている生徒も…。ファミリーにはこやかに歩み寄ってくれますが、名前を言って“Nice to meet you”を言うのが精いっぱい、顔も強張ったままだったり、優しそうなファミリーに少しホッとしたりと、様々な背中を見送りながら、オーストラリア初日の健闘を祈りました。今夜どのような時間を過ごしたのか、明日の報告を待ちたいと思います。



掲示板で搭乗ゲートの確認



オーストラリアでの初ランチ



ブリスベン到着！



ファミリーとの対面を前にソワソワ



ホストファミリーと初対面

